



平成27年度 うるま市の予算

第93回うるま市議会定例会で、平成27年度の一般会計予算および特別会計予算が可決されました。予算規模は、899億4,702万円で、前年度当初予算に比べ4.0%の増額となっています。

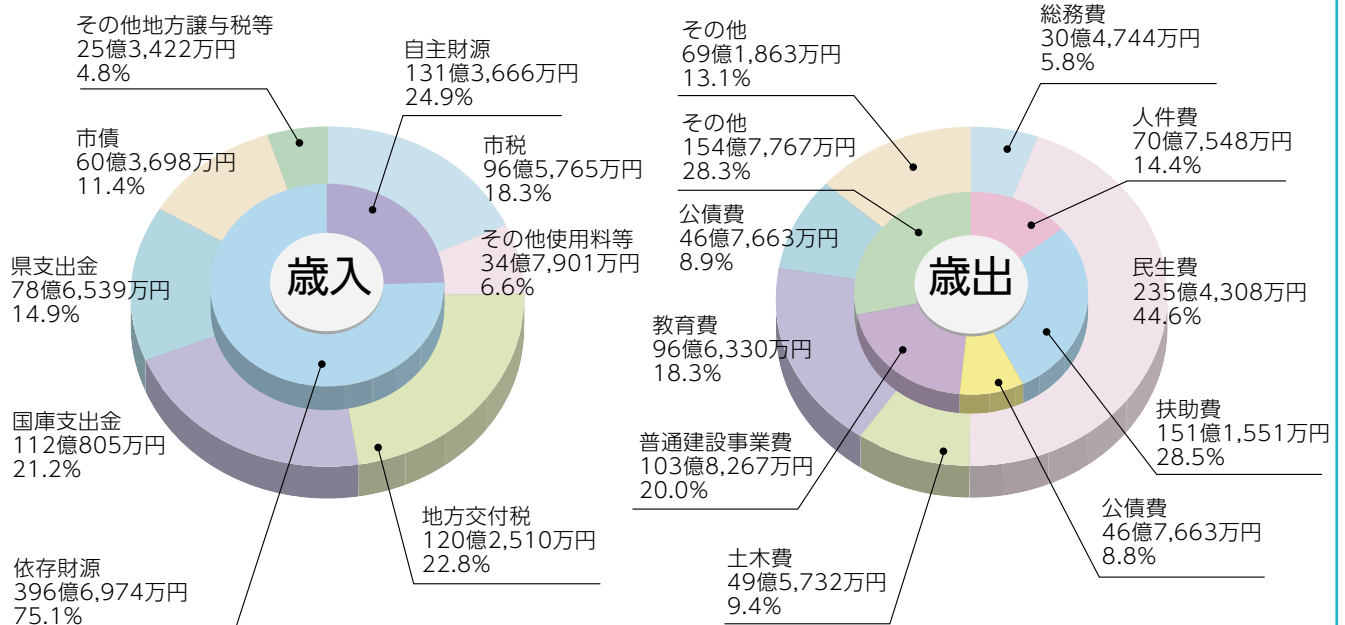
(単位:万円)

区 分	平成27年度当初予算額	平成26年度当初予算額	比 較	伸び率	
一 般 会 計	5,280,640	5,246,253	34,387	0.7%	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	2,121,230	1,818,429	302,801	16.7%
	公共下水道事業特別会計	237,327	259,648	△ 22,320	△8.6%
	介護保険特別会計	886,721	871,539	15,183	1.7%
	農業集落排水事業特別会計	1,922	1,489	433	29.1%
	後期高齢者医療特別会計	89,754	85,030	4,724	5.6%
	小 計	3,336,955	3,036,135	300,820	9.9%
水道事業会計	377,107	364,188	12,919	3.5%	
合 計 (予 算 規 模)	8,994,702	8,646,576	348,126	4.0%	

※端数処理のため、比較及び合計の予算額が合わないこともあります。

一般会計予算 528億640万円

このうち一般会計予算を目的別と性質別に分けて分析すると、次の円グラフのとおりになります。
※円グラフの内側が性質別で、外側が目的別の構成になります。



予算の特徴

平成27年度は、「市民所得の向上と失業率の改善」や「安心・安全なまちづくり」、「明日を担う人づくり」などを重要課題とした総合計画・後期基本計画を推進するとともに、少子高齢化などを背景とする社会保障等のニーズに対応するため、一般会計予算の総額は528億640万円で、前年度当初予算と比較して3億4,387万円、率にして0.7%の増となっています。

歳入は、依存財源である地方交付税や国庫支出金などが大きな割合を占める中、自主財源である市税は歳入全体の18.3%となっており、前年度当初予算と比較して、市税や地方消費税交付金、また国庫・県支出金の増額を見込んでいます。

歳出は、行政サービスを目的別で分類した経費で見ると「福祉や医療などの経費(民生費)」や「学校教育や生涯学習などの経費(教育費)」が大きな割合を占めています。性質別で分類した経費で見ると、生活保護費や障害者自立支援費などの扶助費、道路・公園及び義務教育施設等の事業費が増額となっています。

うるま市では行政改革の視点に立ち、職員数の削減や事務事業の見直し等で経費の圧縮に取り組んでいますが、歳入における自主財源の割合が低い中、多様化する市民ニーズと地域課題に対応するため、市の貯金である財政調整基金を約10億円取り崩して予算収支の均衡を保つなど、依然として厳しい予算編成となっています。